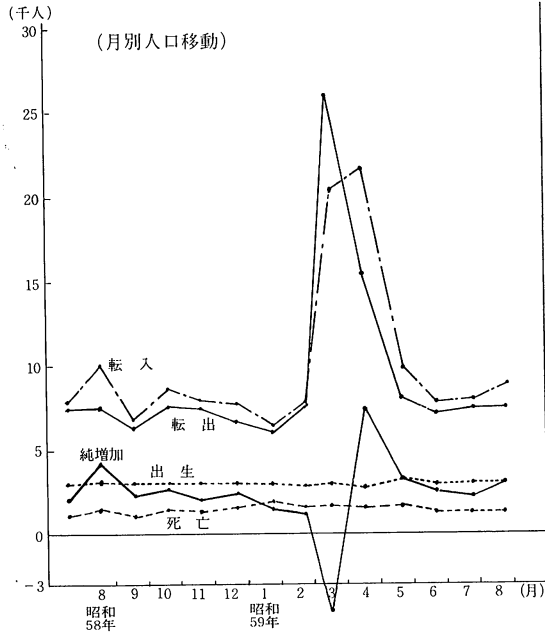
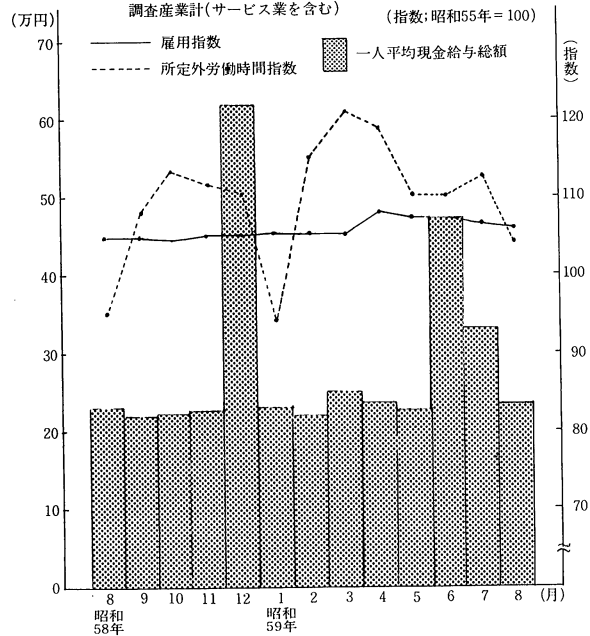


今月の主な動き

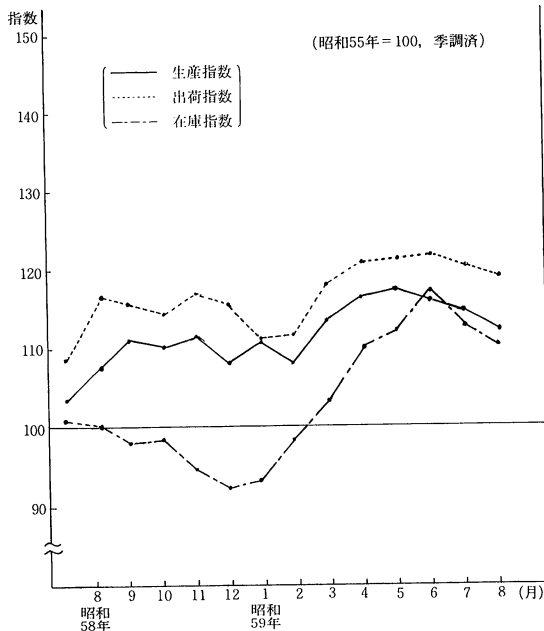
人 口



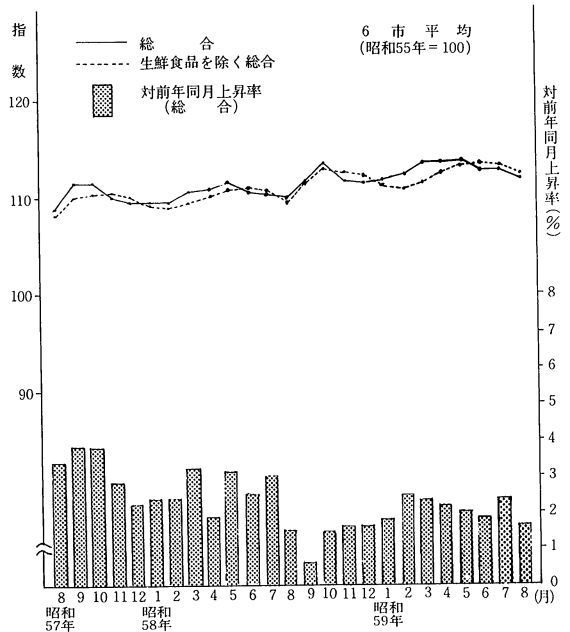
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に3,298人増加し、9月1日現在で2,688,710人になった。昨年9月1日と比較すると25,796人(0.97%)の増加である。今年も例年、4月に次ぐ人口増加を示しているが、その増加は3千人台にとどまり、また、前年同月との増加率は始めて、1%を下回った。

内訳は、自然動態で1,893人(出生3,245人、死亡1,352

人)、社会動態で1,405人(転入9,011人、転出7,606人)、それぞれ増加した。

市町村別では、増加が17市59町村、減少が1市14町村、増減なしが1町である。

世帯数は699世帯増加して、748,366世帯になった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヶ月平均現金給与総額は229,901円で前月に比べ30.2%減(前年同月比3.2%増)であった。

このうちきまって支給する給与は216,245円で前月に比べ2.3%減(前年同月比3.3%増)であり、特別に支払われた給与は13,656円で前年同月に比べ202円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は165.5時間で、前月に比べ10.0%減(前

年同月比0.8%減)であった。

このうち所定内労働時間数は149.3時間で、前月に比べ10.2%減(前年同月比1.9%減)であり、所定外労働時間数は16.2時間で、前月に比べ7.4%減(前年同月比10.2%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.2で、前月に比べ0.6ポイント減、前年同月に比べ1.2ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (8月)

昭和59年8月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が112.1、出荷が119.3、在庫が110.4で、前月比は、生産が△2.2%、出荷が△1.1%、在庫が△2.0%低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.4%、出荷が4.2%、在庫が10.5%の上昇であった。

生産を業種別にみると、金属製品、精密機械、一般機械等が上昇し、鉱業、電気機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、金属製品、化学、石油・石炭製

品等が上昇し、電気機械、鉄鋼等が低下した。

在庫を業種別にみると、輸送機械、鉄鋼、非鉄金属等が上昇し、食料品・たばこ、繊維等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、鉱工業用生産財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

昭和59年8月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で111.9(昭和55年=100)となり、前月比(-)1.1%下落、対前年同月比(+1.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……魚介類(+3.5%

今月下がった主な項目……衣料(-)15.9%、シャツ・下着(-)8.5%、果物(-)7.7%、野菜・海草(-)7.5%、生地・他の被服類(-)4.6%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	111.9	△1.1	1.5	保健医療	108.7	0.0	2.7
食 料	113.3	△0.8	0.7	交通通信	108.4	△0.1	2.2
住 居	113.5	1.0	1.3	教 育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	108.9	0.0	0.1	教養娯楽	114.7	0.4	2.0
家具・家事用品	106.3	0.4	2.2	諸 雑 費	112.5	△0.1	0.6
被服及び履き物	100.3	△10.2	1.9	生鮮食品を除く総合	112.2	△0.9	2.2